

鹿児島県

たからべ森の学校

「学校はみんなのもの」
-元中学校を利用した民間企業による地域活性化事業-



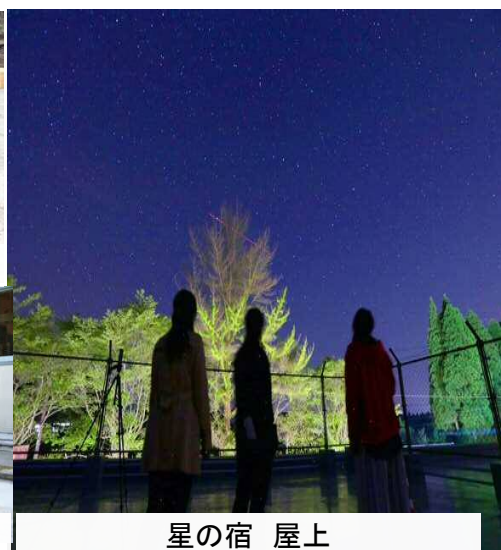
たからべ森の学校 外観



子どもサバイバルキャンプ



古き良きニッポン体験：
薪割り体験



星の宿 屋上

取組概要

- 平成25年に、旧財部北中学校において再就職を目的とした国の離職者向け公共職業訓練施設「農業人材育成科」を開校。
- 平成27年から曾於市と一緒に地方創生事業として、「学校恋活」や、「曾於ライフ魅力アップ事業」などを企画・運営。「親子で地域の伝統行事に参加しよう」、「子どもサバイバルキャンプ」など、学校を舞台にアナログ体験を基本としたイベント・ツアーを提供。
- コロナ禍において、会場参加型のイベントが実施できないためオンラインイベントを企画・運営。

活動成果

- オンラインイベントでは都市部からの参加者が大幅に増え移住につながるイベントを開催することができた。
- 元中学校を活用した森の学校が、アナログな体験を通して、人と人との触れ合いや感動体験を提供している。
- 令和元年にジビエ商品開発を目的として設立された「合同会社財の森」で加工された商品は、令和2年度より「たか森カフェ」や、曾於市ふるさと納税、郵便局ふるさと小包の商品として、販売が開始されている。

たからべ森の学校 <https://t-morinogakkou.jp/>

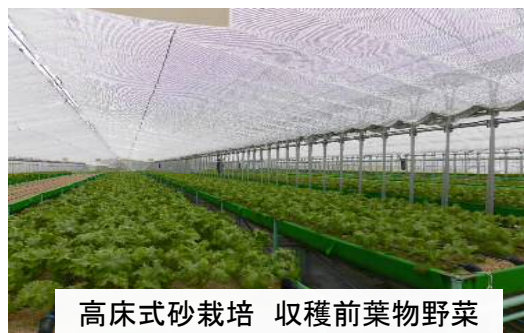
鹿児島県曾於市財部町北俣5410-1 Tel : 0986-28-6120 Fax : 0986-28-6121

株式会社ライトハウス

障害者と一緒に奄美の農業の魅力を発信



パッションフルーツ収穫風景



高床式砂栽培 収穫前葉物野菜



収穫後のパック詰め作業風景

取組概要

- H29年に障害者支援B型施設を開業。農地が遊休農地として荒れている状況を知り農業と福祉を融合させた農福連携の取組を開始。
- R2年11月に高床式砂栽培ハウス2棟を建設。水や肥料の自動散布等の整備により農作業の負担軽減を図りB型事業所の利用者が作業できる環境となっている。
- ハウスでのミニトマト、葉物野菜のほかパッションフルーツの生産も行っている。

活動成果

- R3年4月から順次収穫・販売できるようになり「障害者とともに作った野菜」などに興味をもった高齢施設などに採用。また、奄美市のふるさと納税返礼品にも採用されている。
- ハウスでの栽培開始により利用登録者もR元年度の20人からR2年度は31人に増加。
- ハウス増設により生産力を増強し島外に出ていた若者の就農も実現したいとしている。

株式会社ライトハウス

<http://www.amami-light-house.com/>

鹿児島県奄美市名瀬朝仁町30番地23 Tel : 0997-58-8450 Fax : 0997-58-8451

種子島沖ヶ浜田黒糖生産協同組合

種子島の登窯伝統製法で味わう黒糖の美味しさ



搾汁液を登窯舟形鉄平鍋で煮詰めていく



鉄ローウで圧搾



鹿児島中央駅での販売研修

取組概要

- H30年、100年以上続けられてきた伝統製法による黒糖製造が廃業に危機を迎えたのをきっかけとし、協同組合を法人化して設立。現在5件の地元農家と、3名の移住者で構成。
- 組合で若者を雇用しサトウキビ栽培・黒糖製造・販売までの6次産業化に取り組んでいる。
- 栽培では有機圃場の認証を、工場では品質管理研修を実施しHACCP取得を目指している。

活動成果

- 移住者の若者を新規雇用し、黒糖用の栽培技術と伝統の登窯三段舟形鉄平鍋による技術を継承発展させるため、2019年から正規雇用を1名、臨時雇用を4名採用した。
- 販売では百貨店専門店等でのこだわり販売で固定客を増やす一方、大手生協での販売も開始。
- 栽培体験、加工体験等の体験ツアーを企画し種子島の伝統的な技術を使用した固有のブランドの確立を目指す。

種子島沖ヶ浜田黒糖生産協同組合
鹿児島県西之表市伊関1115番地

<https://okigahamada.com/>
Tel・Fax : 0997-28-0240

28 鹿児島県 肝付町

農林漁業

6次産業化

輸出

団体部門(ビジネス部門)

村商株式会社

地域の絆と食の架け橋を世界へ



台湾2号店 オープン



若手就農者スマート農業講習



農業を学ぼう・
子牛3頭進呈 命名式

取組概要

- 直営の生肉店・焼肉店を併設し、黒毛和牛をリーズナブルに提供。
また、地域農家と連携し経営ノウハウの伝承等を行うために積極的な牧場の視察と講和への参加や職場体験受入等の「農業を学ぼう」を行っている。
- 冷凍食品「ごちそうビーフシリーズ」の新商品開発による商品数の増加。
- 自社台湾法人への直接貿易に加え、間接貿易によるさらなる輸出先の拡大を図っている。

活動成果

- 飼養頭数を着実に拡大し、R2年度は1,660頭。売上高は10億1千万円、肝付町などの店舗への来場者数は年間約9万3千人。台湾等への輸出実績は約8千8百万円。
- 労働負担軽減と経営効率化のため、ICT機器を導入。効率的で働きやすい職場環境を構築。
- 独自の輸出ルートを確立できたことで輸出コストが削減され、高品質で安価な価格帯を実現。また、香港、マカオ等へ輸出先も拡大。

村商株式会社

鹿児島県肝付郡肝付町622-1

<https://www.shinmura.com/>

Tel: 0994-45-5098 Fax: 0994-45-5095

せがわ ちか
瀬川 知香氏

農業・観光連携で課題解決と新たな価値の創出



1日1組限定の古民家宿



空家再生現場でのイベント様子



特産品開発(スイートコーン茶)

取組概要

- コロナの影響による観光客激減の打開策として繁忙期の農作業の従事、加工品の開発・製造・販売の強化を実施。
- 新たに茶畑に囲まれた空家を改修し1日1組限定の宿泊施設の開業準備とあわせて敷地内の未使用の倉庫を改修・活用し野菜の販売等も計画中。
- 半農半観という地域ならではの働き方を定着させるため主に農家を対象とした農家民宿開業セミナーを実施。

活動成果

- 副理事長として活動しているNPO法人 瀬川おこそ会の役員の3分の1は女性になり女性の活躍の場が増加。
- 空家を活用して農業と観光の発展・交流の創出、地域経済の循環、観光の要素を取り入れることで若者や女性の農業従事者の増加が期待される。
- メディアの受付窓口となる行政との密な関係性を構築し、既存施設・新規施設や小規模な取組まで丁寧に発信してもらい、何度も顧客獲得に繋がった。

瀬川知香氏
鹿児島県南九州市瀬川町別府503-4

<https://www.fukunoya-ei.com/>
Tel : - Fax : -